みちのくTopics　新・みちのく未来基金の告知ポスターできました！

今年の春、短大・専門学校を卒業し、社会に羽ばたくみちのく生が誕生します。
そんな彼らに協力してもらい、みちのく未来基金の新しい告知ポスターの撮影を行いました。
撮影と同時に簡単なインタビューを行う中、彼らの口から出てきたのは「これから社会に出て恩返しをしたい。」という言葉。「震災後、見ず知らずの自分たちを助けてくれた人が日本中、世界中にいる。助けてくれた方に感謝の気持ちが届くように、これからしっかりと働きたい。」と、力強く、今の思いを語ってくれました。
今後、この告知ポスターは、発起企業の広報部門からの協力により２～３月の新聞各紙に掲載される予定です。








第2期（2012年10月～2013年9月）決算報告

前期繰越額	361,526,032
当期寄附金総額	484,296,108
通期寄附金総額	845,822,140

残　　額	645,255,892
受取利息	108,849
次期繰越額	645,364,741

奨学金給付費用	182,901,005	［進学先に支払った学費（入学金+授業料等）：学費免除・減額分も含む］
奨学生交流費用	2,987,481	［みちのく生対象の交流イベント費用］
運営管理費用	14,677,762	［基金運営のための管理費用］
費用支出合計	200,566,248	

※なお詳細につきましては、基金ホームページに掲載の財務諸表をご覧ください。

・第３期への繰越額は 645,364,741 円となりました。また第３期の奨学金給付費用は、1期生・2期生・3期生分を併せ、約 300 名のみちのく生への奨学金として約３億円を予定しております。

「継続寄附のお願い」
震災遺児約 1700 人の進学の夢を応援すべく、みちのく未来基金は約 25 年間の活動をしてまいります。給付金額は総額 40 億円が必要と見込んでおりますが、まだまだ資金が不足しております。どうぞ今後も皆様からの継続したご寄附をお願いいたします。

皆様からのご寄附は、すべて震災遺児の学費として使わせていただいております。

■ご寄附方法　「銀行振込」「クレジットカードによる引き落とし」「現金書留」のいずれかをお選びいただけます。みちのく未来基金へのご寄附は寄附金控除の対象となります。

七十七銀行　店舗コード：本店 100　普通預金　口座番号 7951345
三菱東京 UFJ 銀行　店舗コード：仙台支店 314　普通預金　口座番号 0271354
ゆうちょ銀行
ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行へのお振込　記号 18150　記号 27549411
他銀行からゆうちょ銀行へのお振込　店名　ハー八　店番 818　普通預金　口座番号 2754941
共通　口座名義　公益財団法人　みちのく未来基金
口座カナ名義　ザイ）ミチノクミライキキン

＊上記のいずれかの口座にお振込み下さい。（お振込みには手数料がかかります）＊受領書発行ご希望の場合は、お電話・FAX もしくは E-mail にて送付先をご連絡下さい。

クレジットカードによるご寄附の場合　ホームページアドレスから入り、クレジット決済画面にてお申込みください。　みちのく未来基金　検索
現金書留によるご寄附の場合　郵便局から、当基金宛てに直接現金書留にてご郵送下さい。

≪特別支援企業・団体≫　＊ご寄附に加えて、社員を常勤スタッフとして派遣戴いてる企業・団体
エバラ食品工業（株）

≪支援企業・団体≫　＊5 年間で 5 百万円以上もしくは単年で 1 千万円以上のご寄附を戴いている企業・団体
旭精工（株）/ アトム（株）/（株）アール・アイ・エー /（株）アンズコーポレーション /（株）一如社 / 岩井機械工業（株）/ 岩瀬コスファ（株）/（株）ヴァンネット
エムスリー（株）/（株）大木 /（株）O2（オーツー）/ 化成工業（株）/（株）カナエ / NPO 法人キャットミント /（株）協和 / コクヨ東北販売（株）/ 小菅（株）
（株）サークル K サンクス / 産経新聞厚生文化事業団 / 三省製薬（株）/ 三和工業（株）/（株）CDG/（株）ジャスト / スターバックスコーヒージャパン（株）
（株）世界思想社教学社 /（株）関本組 / 大地みらい信用金庫 /（株）土金 /（株）トレンディ / 日進工具（株）/ 日本臨床口腔外科医会 /（株）ノーリツ
（株）ハーティウォンツ / 不二製油（株）/ 富士ゼロックス宮城（株）/BLEA/PepsiCo,Inc. / 北陸朝日放送（株）/（株）ホスピタリティエージェント /（有）丸山珈琲
三菱自動車工業 STEP 基金 / 宮川興業（株）/ 未来航路（株）/（株）薬王堂 / 八千代電設工業（株）/ ユニー（株）/ 医療法人社団 和幸会

≪後援企業・団体≫
五十嵐 ICT プロモーション / 岩手日報社 / 河北新報社 / 合同会社コーズ・アクション / 鈴木友隆公認会計士事務所 / 福島民報社 / 公立学校法人宮城大学

≪発起企業≫
カゴメ（株）/ カルビー（株）/ ロート製薬（株）　（五十音順）

その他ご協力頂いている全ての皆様に感謝致します。

Copyright(c) 2011 公益財団法人みちのく未来基金 All Rights Reserved.

みちのく未来通信

2014年1月
第6号

公益財団法人みちのく未来基金
〒981-3135
宮城県仙台市泉区八乙女中央５丁目 10 番８号
八乙女ユナイトビル 2F
電話番号 022（343）9996
FAX 番号 022（343）9997
E-mail　info@michinoku-mirai.org
HP　http://michinoku-mirai.org/

みちのく未来基金は３年目を迎えました！

「みちのく未来基金」は多くの個人・法人・団体の皆様の温かいご支援に支えられ、３年目を迎えることができました。お陰様で第１期生 96 名、第２期生 122 名、この２年間で 218 人の子どもたちの夢の後押しをすることができました。あらためて篤く御礼申し上げます。ありがとうございました。

あの震災からもうすぐ３年、当時中学３年生で高校入学を目前にして希望にあふれていたはずの子どもたちが、それぞれ厳しい３年間の高校生活を卒業し、基金の第３期生として約 100 名が次への希望を胸に進学を果たそうとしています。

また一方で今春 27 名が短大、専門学校での学生生活を終え、社会に旅立つ準備をしています。

「みちのく未来基金」はあの震災の年に生まれた子どもたちが将来大学等を卒業するまでの約 25 年間、ひとりひとりの子どもたちと向き合い支援活動を行うと決意してスタートいたしました。

すでに被災地を離れ、他県で暮らす遺児たちが約 90 名いることが、厚生労働省の調査で明らかになっています。私たちは 2013 年から、スタッフが全国の行政や NPO 団体等を訪問し、他県へ移った子どもたちになんとかこの基金のことが伝わるよう、新たな活動も開始いたしました。全国のサポーターの皆様に、もし震災遺児の情報がありましたら当基金までご連絡をいただきたく、お願い申し上げます。

この４月からは約 300 名のみちのく生と心のふれあいを通して、基金は子どもたちと一緒に成長していきたいと思いますので、変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

公益財団法人みちのく未来基金 代表理事　長沼孝義

2013年　基金の歩み



1 月　2期生合格祈願

3 月　「第2期生の集い」を開催。
新たに 122 名のみちのく生が基金に加わりました。
また、専門学校を卒業する1期生の「旅立ちの会」を同日に開催。
基金から初めての社会人が巣立ちました。



4 月　・3期生エントリー受付開始
・エバラ食品工業（株）が特別支援企業として新たに参加。



6 月　全国の自治体・支援団体等への訪問開始
岩手・宮城・福島以外へ移住した遺児たちへ向けて、基金の情報を発信。

8 月　・「みちのく生再会プロジェクト」を開始
第一弾夏のイベントとして、仙台・東京の２会場でバーベキューを実施しました。
・選考委員会開催　3期生候補者を認定



9 月　理事会開催

11 月　業務執行理事に竹中俊之【エバラ食品工業（株）】が就任

12 月　年次面談実施　約 200 名のみちのく生と面談を行いました。

面談シーズン到来！

みちのく未来基金では、年に一度みちのく生と基金スタッフが直接会い、面談することを約束しています。スタッフにとってはみちのく生たちの様子を直に知ることができる機会であり、みちのく生たちに会えることを皆とても楽しみにしています。今シーズンも 12 月 14 日から約 2 週間かけて、1期生・2期生全員と面談をしました。学校での様子を楽しそうに話してくれた人、就職が決まったことを報告してくれた人・・・。うれしい話をたくさん聞くことができた一方で、悩んでいることや迷っていることを話してくれた人もいました。みちのく生たちとの話を通して、直に接することの大切さを改めて感じ、スタッフもたくさんの元気をもらえた面談になりました。総勢約 200 名との面談の中から、みちのく生たちの様子をお伝えします。

① 学校で勉強していること　② 最近のわたし　③ 将来の目標

1期生女子（宮城県内専門学校）



① 専門学校では公務員試験に向けた勉強をしていました。１年生のときは各教科ごとに授業を受けていましたが、２年生になってからは１日２セット公務員模試を解いたり、２次試験対策として面接練習を繰り返し行いました。

② 今は就職活動が一段落したので、やっと車の免許を取りに行きました！ 学校生活の中では、エクセル検定やビジネス検定の勉強、就職後に使えるように電話対応の練習をしています。

③ ４月から宮城県職員として働きます。公務員になることができたのは、支援してくださった方々や私の相談に乗ってアドバイスをくださった基金のスタッフの皆さんのおかげだと思っています。働くにあたって不安なことも多いですが、感謝の気持ちを忘れず、少しでも宮城県の復興に携わっていきたいです。

1期生男子（宮城県内大学）



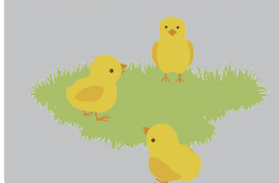
① 私は現在、大学で福祉と経済を交えた勉強をしています。福祉と経済という、一見相反する要素を両方学ぶことはとても新鮮で、今までになかった視点で物事を見られるようになりました。

② バンドのドラマーとして、また和太鼓の奏者として、幅広く音楽活動をしています。バンドではツアー等で他県に行くことも増え、貴重な経験とつながりを作ることができました。
震災後、私は震災で亡くなった人達を弔うため、復興の証を残すため、故郷であり被災地である東松島市大曲浜に青い鯉のぼりを揚げる「青い鯉のぼりプロジェクト」を始動させました。太鼓を通し、人との出会いを通し生まれたこのプロジェクトは、自分に本当に多くのものを与えてくれました。子供の時から夢だった和太鼓奏者として、大きな会場に立ち演奏するという夢も叶えることができました。今年はロサンゼルスでの開催も決定し、海外でも活動を広めてきます。
自分が自分であるために必要なのは「音楽」です。本当に多くの思い出、経験をもらい、何より沢山の人と出会いを作ってくれました。人の出会いは私以外にも、家族や親戚の大切さを教えてくれました。現在私は父と弟と３人で暮らしています。弟は航海士を目指しており、夢にむかって頑張っています。

③ 今年で３年生になり、大学生活も折り返しになります。今しかできないことは沢山あります。自分に悔いが残らないように音楽を通して、人に元気を感動を与えられるように、全力で取り組んでいきたいと思います。

1期生男子（宮城県内専門学校）

① 仙台幼児保育専門学校で、保育士や幼稚園教諭を目指した勉強をしています。基礎から実技まで豊富に学び、実践ができる学校で、毎日勉学に励んでいます。保育の現場で必要な教材を作成したり技術を学ぶことで、現場のことを考慮した学習ができるので、とてもためになっています。



② 僕は今、学校に通いながら飲食店でアルバイトをしています。様々なお客様と接することで、自分の将来の夢に通ずる対人技術を学べています。また言葉遣いも大切なので、日々学んでいます。
バイトを通して社会勉強ができるので、日々頑張っています。

③ 僕は今年就職活動に入ります。将来は保育士になりたいと望んでいます。保育士になることはずっと僕の夢でした。この三年間の学習を通して、保育士の仕事の大変さを強く知り、単に子供が好きというだけではやっていけないということを強く感じました。責任を持って仕事に就けるように頑張っていきたいです。

2期生女子（山形県内大学）



① 山形にある東北芸術工科大学の企画構想学科で、「企画」という分野を学んでいます。演習を通してプレゼンテーションの練習や広告や PR などのプロモーション、商品開発、コピーライティングの勉強をしています。

② 後期からアルバイトを始めました。最近では、はじめたばかりの頃より周りを見る余裕も出てきて、アルバイトを始めるまでにはなかった店員としての視点を得ることができて、これから様々な企画を考えていく上で役立つものが得られていると感じています。

③ 将来は、大学で学んでいる分野を生かして、地元や東北を元気にしていけるような仕事に就きたいと考えています。広告やキャンペーンを通して、震災前よりさらに東北の魅力を発信していけるような活動をしたいです。

2期生女子（宮城県内大学）



① 東北福祉大学社会福祉学科で社会福祉士の資格を取得し、将来は、患者さんやそのご家族の方々の心理的、経済的問題の解決を社会福祉の立場から支える医療ソーシャルワーカーになるために日々学んでいます。１年生の間は必修科目である福祉に関する授業はもちろんのこと、他にも心理学や教育、児童に関するもの、臨床美術という医療で用いられる美術など、自分の興味のある講義も履修しています。２年生からは専門的な授業が増えるので更に勉学に励み、知識を増やしていきたいと思っています。

② 勉強以外ではサークル活動や、アルバイトを頑張っています。私は、ボランティア、スポーツの２つのサークルに所属しており、ボランティアサークルでは月２回、幼稚園児から小学校高学年の子ども達と公園で遊んだり、ピクニックやバーベキューなどイベントを企画して楽しく遊んでいます。

③ 2014 年の目標は“努力”です。勉強とサークル、趣味、アルバイトなどをして充実した一年にしていきたいです。

2期生男子（京都府内大学）



最近の作品です！！

① 京都府にある同志社大学文化情報学部で、データサイエンスを学んでいます。データを適切な方法で収集し解析を行い、今まで明らかにされていない事実を浮かび上がらせる手法を学んでいます。

② 中学・高校と続けてきた野球を、大学の軟式野球部に入って続けています。高校時代には全国大会優勝が叶いませんでしたが、大学ではぜひ全国制覇を成し遂げたいです。
　また、大学入学後に出会った友達からの影響で、一眼レフカメラを購入し、風景や夜景を撮りにいったりしています。

③ 実際に社会に出て仕事をすることになったときに、人との出会いを大切にすることのできる人間になりたいです。特に東日本大震災の後に強く感じました。
　当たり前に会うことが出会いではなく、その場その一瞬ごとに会うことを大切にできることが“本当の出会い”であり、それを実行できる人間になりたいです。

～サポーター紹介～ スターバックス　コーヒー　ジャパン株式会社



CEO 関根 純 様

みちのく未来基金の活動は、多くの企業・団体・個人の皆様に支えられています。 スターバックス コーヒー ジャパン株式会社では、「復興支援スターバックスカード プログラム」という独自の取り組みを通じて、基金の子ども達を応援してくださっています。
一杯のコーヒーから広がる支援の輪についてご紹介します。

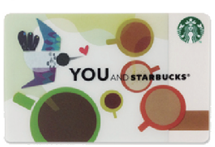




・みちのく未来基金との出会い　～共感できるから、応援したい～

震災直後から、「自分たちにできることは何なのだろうか」と、全国のパートナーが考えていました。
そんな中、東北で活動していたパートナーの一人が、みちのく未来基金という団体があることを知らせてくれたのです。活動の様子を聞く中で、これはスターバックスの理念にとても近いなと感じた。特に、25 年間活動を継続するという点が非常に良いと感じました。人と人とのつながりを大切につなげていきたいという、スターバックスの理念に共通していたからです。
（注：パートナーとは、スターバックスの店舗で働く全ての人を指します。）

・ハミングバードカード　～2万人のハチドリの「ひとしずく」～



店舗のパートナーとお客様が一緒にできる取り組みとして、2012 年から「復興支援スターバックス カード プログラム」を企画しました。みちのく未来基金を応援する特別なデザインのスターバックス カード（プリペイドカード）を作って、カード発行時にお客様から 100 円の寄附をいただき、また、お客様にこのカードで購入いただくと、その売り上げの一部を基金に寄付させていただくという仕組みです。カードに描いたハチドリ（ハミングバード）は、南米アンデス地方に伝わる話「ハチドリのひとしずく」をモチーフにしています。この話は「自分にできることをする」ことの大切さを説いています。全国に２万人以上いるパートナーが、それぞれの立場で今自分にできることをするというのは、正に「ハチドリのひとしずく」です。
こういった活動は年数が経つとトーンダウンしてしまいがちなのに、このプログラムは全く逆でした。２年目の今回は１年目以上の反響があり、カードが足りなくなってしまうほどでした。弊社のパートナーと基金のスタッフの皆さんがお互いに共感し合ってモチベーションを高め、お客様がそれに共感してくださった結果だと思います。



・みちのく生へのメッセージ ～つながっている人がたくさんいる～

スターバックス コーヒー ジャパンは、今年で設立 18 年目を迎えました。みちのく未来基金で進学を果たす皆さんと、ちょうど同じ年頃です。この時期は人間にとって非常に重要なときです。みちのく生の皆さんも、今が一番多感なとき。悩みも多いけれど、楽しいこともたくさんある時期だと思います。
スターバックスでは２万人のパートナーがお客様と一緒に、これからもみちのく生を応援し続けていきたいと思っています。それは、みちのく生の皆さんにつながっている人たちがたくさんいるということです。主役はみちのく生の皆さん自身です。つながっているたくさんの人のことを心のどこかに留めながら、毎日を大切に、一生懸命生きてほしいと思います。